

## 精神科医療の立場から



こころと身体クリニック  
医療法人社団  
**五稜会病院**

医療相談室  
精神保健福祉士 小林祥子

H24.2.18 東区・東区地域部会共同シンポジウム スライド

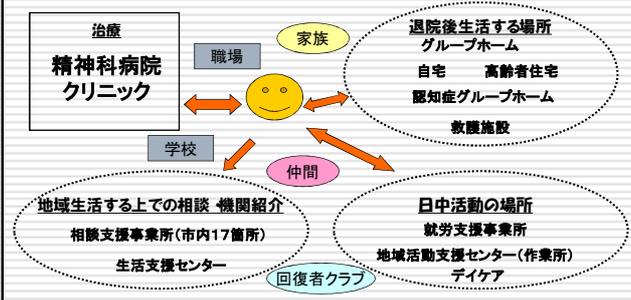
## 今日のお話

- ①精神科医療の現在(いま)について
- ②患者さんを支える地域ネットワークについて
- ③五稜会病院の紹介と治療プログラムについて
- ④医療相談室(精神保健福祉士)の役割

## ①精神科医療の現在(いま)

- 厚生労働省(平成19年～)  
「4大疾病」  
①がん②脳卒中  
③心筋梗塞④糖尿病  
↓  
平成20年調査で、  
糖尿病患者237万人  
がん患者152万人  
精神疾患**323万人**  
(年間3万人の自殺者)  
↓  
平成23年7月  
精神疾患加え「5大疾病」へ
- 札幌市内精神科の数  
★病院(入院設備有):37  
(うち民間の精神病院34)  
★クリニック(入院設備無):81  
(平成23年3月末時点)
- ここ10～15年の変化  
薬の変化  
医療情勢の変化  
→入院治療中心から**外来治療・  
地域生活を維持する支援中心**  
へ(生活の基本は地域社会)

## ②精神障がいを抱える方を 支援する資源・ネットワーク



## ③五稜会病院の紹介

医療法人として 精神科病院1施設運営

- 診療科目:精神科・神経科・  
心療内科・内科・胃腸科
- 外来部門  
外来診療 218.2人/日  
デイケア(大) 60人/日  
訪問看護 7件/日
- 入院部門  
精神科病床 193床  
平均在院日数 104日  
(H21年度実績)
- 社会復帰施設(定員)  
グループホーム 30人  
共同住居 13人



札幌市内北の端10kに位置する

## 入院環境(193床のベッドを有している)

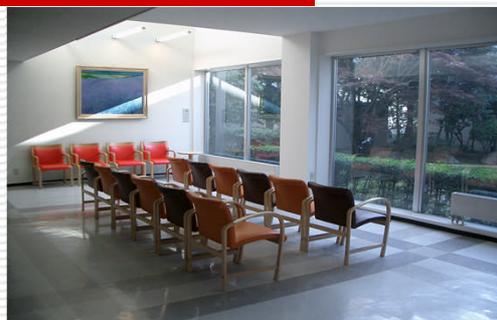
- 4つの病棟に分かれている。  
(開放病棟2 閉鎖病棟2)
- ①精神科急性期治療病棟 38床
  - 精神科療養病棟 107床
  - ②閉鎖:53床 ③開放:54床
  - 精神科一般病床(15:1) 48床  
(④思春期・ストレスケア病棟)



### 対象疾患

- 統合失調症
- 気分障害(躁病、うつ病、躁うつ病)
- 神経症性障害
- パーソナリティ障害
- アルコール依存症
- 摂食障害
- 発達障害
- その他

### 外来ロビー(待合室)



### 思春期・ストレスケア病棟 (ナースステーションとデイルーム)



### 個室



### 思春期・ストレスケア病棟二人部屋



### 急性期治療病棟(閉鎖)デイルーム





### リハビリテーションプログラムの紹介

#### ★リワーク(復職)デイケアの紹介

- 2007年5月開設
- 週4日開催(月・火・水・金)9:15~15:30
- 復職支援における重要点

- 1) **生活リズムを整える**  
うつ病による睡眠障害の影響、生活リズムの崩れ
- 2) **うつ病患者に特徴的な認知の修正**  
認知行動療法(認知療法)を使用。  
症状の再発・再燃の予防、つまり再休職の防止を目的す
- 3) **集中力・体力の回復**  
うつ病による集中力の低下を回復させる

### 五稜会病院における デイケア(リワーク(復職支援)プログラム)①

- **個人作業**

目的: 集中力・作業能力の改善

<内容>  
パソコン作業(レポート作成)、読書、ジグソーパズル、間違い探し、脳トレ、プラモデル、手工芸など

☆通所初期や対人緊張の強い人に適している  
☆交流が少なく、自分のペースを守れる  
☆成果がわかりやすく、回復を実感しやすい

### 五稜会病院における デイケア(リワーク(復職支援)プログラム)②

- **スポーツ**

目的: 生活リズム・体力の改善

<内容>  
ヨガ、ピラティス、ストレッチ、ウォーキング、卓球、キャッチボール、など

☆基礎体力、運動習慣を身に付ける  
☆疲労することで睡眠障害が改善されやすい  
☆スポーツを通して自然な交流が生まれる  
☆気分転換のコツを学べる



### 五稜会病院における デイケア(リワーク(復職支援)プログラム)③

- **グループワーク・心理教育**

目的: 自己の認知・行動のパターンを知る  
再発予防のため、ストレスに気づき、対処方法を獲得する

<内容>  
★グループワーク: 話し合い・プレゼンテーション・実際場面の再現と練習(ロールプレイ)  
★心理教育: 疾患コントロール、自分との付き合い方について、依存の問題、性格分析、コミュニケーションについて

☆再休職の防止への直接的な関わりになる  
☆自分だけではないという安心感を得られる

## グループ場面



## ④医療相談室・精神保健福祉士の役割

(当法人内には9名の精神保健福祉士が在籍)

- 受診相談(相談直通電話設置)
- 制度紹介(経済相談・福祉サービス申請等)
- 地域につなげる支援
  - ①退院支援
  - ②通所資源・相談窓口へのつなぎ(同行)
  - ③地域生活を支えるスタッフとの連携
- 地域生活を維持する支援
  - 訪問看護・相談支援

## 気をつけていること

- 病院としての役割を果たす  
(診断・治療・病気の理解を促す支援・地域生活に戻す努力)
- たらいまわしにしない支援
- 患者さんやご家族は精神科に来るまでに様々な努力をされていることを大切に
- 病気の部分だけに焦点を当てるのではなく、「健康な部分」「生活」にも焦点を当てる
- 「症状とつきあう・コントロールする」「病いを抱えながらも自分の夢・希望を実現できるように」支援するスタンス

ご清聴ありがとうございました。

五稜会病院 ホームページ

<http://www.goryokai.com>